



ライオンのサステナビリティ

基本的な考え方

社会の一員である企業は、事業活動により環境や社会に影響を与えるため、環境・社会・経済の3つの観点から持続可能な社会に貢献する社会的責任(CSR)を果たす必要があります。

ライオンは「事業を通じて社会のお役に立つ」という創業の精神を受け継ぎ、経済的発展のみならず、環境や社会に与える影響を考慮しながら、地球環境や社会の課題に対し事業を通じて長期的・継続的に取り組んできました。

現在は、経営ビジョン「次世代ヘルスケアのリーディングカンパニーへ」の実現に向けて、中期経営計画「LIVE計画」を推

進し、持続可能な社会の発展・事業の成長を目指したサステナブルな経営を進めています。リスク低減に向け、経営の重要な課題に取り組むとともに、オーラルヘルスケア・清潔衛生習慣等を通じた一人ひとりの「心と身体のヘルスケア」の実現に挑戦しています。

ライオンのサステナビリティの考え方

<https://www.lion.co.jp/ja/csr/management/>

持続可能な開発目標(SDGs)への貢献

SDGsは2030年までに持続可能な世界を実現するために国連によって定められた国際社会共通の目標です。

ライオングループは、次世代ヘルスケアのリーディングカンパニーとして、商品・サービスを通じて、主に目標3「あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する」の達成に貢献していくとともに、中期経営計画「LIVE計画」の達成に向けた取り組みを通じて、SDGsが目指す持続可能な社会の実現に貢献していきます。

- ・オーラルケア習慣の普及活動
- ・清潔衛生習慣の普及活動 等



ライオンのSDGsへの取り組み

<https://www.lion.co.jp/ja/csr/sdgs/>

重要課題の特定

当社は2018年に、経営ビジョンの実現やSDGsへの貢献等、2030年時点の社会像からバックキャストして2020年までに取り組むべき「サステナビリティ重要課題」を、右記のステップを通じて特定しました。ライオンのサステナビリティ重要課題とは、広く、事業や地球環境、社会のサステナビリティを考慮して「人と地球の健やかな未来」の実現に資する、当社事業と社会の双方に重要な課題です。特定にあたっては、バリューチェーン全体およびステークホルダーを網羅的に勘案し、リスクと機会の両面でもらえています。

さらに2020年には、2030年を見据えたグループのあるべき姿として「サステナビリティ重要課題」と2030年目標を新たに設定しました。その中で特に「サステナブルな地球環境への取り組み推進」「健康な生活習慣づくり」は、経営資源を投下して競争優位を確保する課題であり、最重要課題として取り組むものと位置づけています。

サステナビリティ重要課題の考え方



サステナビリティ重要課題の特定ステップ



バリューチェーンにおけるサステナビリティ重要課題のリスクと機会

バリューチェーン全体およびステークホルダーを網羅的に勘案し、リスクと機会に重要課題を層別しました。

バリューチェーン段階	原材料調達	当社での活動	消費者による使用	消費者による廃棄
主なステークホルダー	取引先	従業員	お客様	
		株主・投資家 地域社会		
サステナビリティ重要課題	機会	<ul style="list-style-type: none"> ●ダイバーシティの推進 ●ワーク・ライフ・バランスの推進 ●人材育成 ●健康経営の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ●お客様の信頼と満足の追求 ●健康な生活習慣づくり 	
	リスク	<ul style="list-style-type: none"> ●責任あるサプライチェーンマネジメントの構築 ●労働安全管理体制の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ●人権の尊重 ●リスクマネジメントの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ●コンプライアンスの浸透 ●グループ・ガバナンスの強化